

~安い・早い・多い が新しい未来を作る~

■ MUNEHARU HAYASHI



一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会 林宗治会長





会長の声

この度、JCSSA会長に就任しましたソフトクリエイトホールディングス代表の林宗治です。13年間会長を務められ、 現在は名誉会長に就任された大塚氏より、バトンを受け取りました。大塚氏からは「林さんは20年はやってよ」と いうお言葉もいただき、身が引き締まる思いです。

今回は、会長のお話をいただいた時に感じた3つのことについてお話しいたします。「本当に自分に務まるのか(な ぜ自分なのか)」「どうして今なのか」「自分に何ができるのか」です。

まず、「本当に自分に務まるのか」。これはもう運命・歴史・宿命としか言えません。JCSSAは、現在の社団法人 になる前、1991年に発起人会からスタートしておりますが、当時の7名のメンバーの一人が、私の父であり、ソフ トクリエイトホールディングスの現会長である林勝です。そう考えると、JCSSAの皆様とのおつきあいは2世代で 30年。もはや家族です。一緒に家族を増やそうという気持ちになりました。

次に、「どうして今なのか」です。今年は、業界全体としてPC販売台数が過去最高を大幅に更新する見込みですが、 同時に、来年以降どうするかを考えなくてはなりません。このタイミングで会長を務めることで、協会として一緒に 取り組むことできるのではと考えました。これはチャンスだとも思えました。

最後に、「自分に何ができるのか」です。現在、JCSSAは「ITで日本を元気にする」というスローガンを掲げてい ますが、サブスローガンとして「販売を進化させる」を掲げたいと思います。進化とは例えば、標準化です。取引を よりスムーズにスピーディーにする、ルールをシンプルに、手順を少なくする、といったことです。昨今のクラウド の販売には様々なルールがあり、標準化が遅れているという事実もあります。こうした課題に対して、全体の販売の 進化を図ることは、協会として取り組むべきことだと考えています。

さて、今回、JCSSAの新専務理事に就任されたのは、窪田大介氏です。非常にご多忙と聞いている中で、今回の 重責を引き受けていただけることに大変感謝し、本当に頼りにしております。世代を越え、年号も越えて活動する、 そんなJCSSAでありたいと思います。皆様、是非一緒に「販売を進化させましょう」。

※2019年6月14日JCSSA総会懇親会挨拶より抜粋

表紙の数字 約41兆円

米国のSpace Foundationの報告によると、世界の宇宙産 業の市場規模は、2017年に3,835億ドル(約41兆円)に達 しています。超小型人工衛星の登場などにより、今後も急速 な成長が見込まれており、日本でも、現在の市場規模約1.2 兆円を2030年に約2.5兆円にする目標を掲げています※。

※「宇宙産業ビジョン2030」(2017年政府発表)より

Contents

「販売を進化させる」をサブスローガンに

特集 3

超小型衛星による新しい宇宙開発利用への挑戦 ~安い・早い・多い が新しい未来を作る~



2019年6月14日、毎年恒例のサマーセミナーと懇親会を帝国ホテル本館3階富士の間で開催した。サマーセミナーでは、東 京大学大学院の中須賀真一先生をお招きして、宇宙産業の進化をもたらす超小型衛星についてご講演いただいた。セミナー 終了後の懇親会では、多数の会員企業の皆様にご参加いただき、交流を深める場となった。

中須賀 真一氏

東京大学大学院工学系研究科 航空宇宙工学専攻 教授



大学工学部卒、 1988年東京 大学博士課程 修了、工学博 士。同年、日本 アイ・ビー・エ ム東京基礎研

1983年東京

究所入社。1990年より東京大学講師、助教授。

アメリカ・メリーランド大学、スタンフォード大学、 オーストラリア国立大学等の客員研究員を経て、 2004年より航空宇宙工学専攻教授。

超小型人工衛星の設計・製作・運用、宇宙システムの 知能化・自律化、革新的宇宙システム、宇宙機の航法 誘導制御等に関する研究・教育に従事。2003年の世 界初の1kg CubeSat衛星の打ち上げを皮切りに、超 小型衛星9機の開発・打ち上げに成功。2010-2014 には内閣府Firstプログラムによる「(通称) ほどよし

超小型衛星プロジェクト」リーダー、その成果が 評価されて2017年度 第3回内閣府宇宙開発利 用大賞内閣総理大臣賞受賞。

日本航空宇宙学会、SICE、IAA等会員, IFAC元 航空宇宙部会部会長、UNISEC元理事長、および UNISEC-GLOBALは設立時より委員長。2012年 より内閣府宇宙政策委員会委員となり、2015 年1月成立の現行の宇宙基本計画策定の中心的 役割を果たした。

超小型衛星が挑戦の 「しきい」を下げる

今、宇宙産業は変わりつつある。これま で多額のコストと長期の開発期間を要し ていた人工衛星が、超小型化したことで 様々な開発や取り組みに挑戦できるよう になった。超小型衛星の分野を牽引するの が中須賀氏だ。

人工衛星は、惑星、主に地球の軌道上を 周回し、仕事を果たす人工天体だ。中須賀 氏は「ロケットがそのまま回っていると 思われることがあるが、ロケットはいわ ば運ぶためのトラック。仕事をするのは 人工衛星」だと解説した。人工衛星が行う 仕事は「ミッション」と呼ばれ、ロケット と人工衛星、それぞれが役割を果たすこ とで宇宙での活動ができる。生活の中で も人工衛星は多く利用されている。BS放 送の放送衛星、GPSの航法衛星、また、気 象衛星「ひまわり」、地表の状態を観測す る陸域観測技術衛星「だいち」など、多く の衛星が活躍する。

一方で、宇宙利用には課題があった。そ の一つが、人工衛星の大型化である。月周 回衛星「かぐや」で3トン、「だいち」は4ト ンにも及ぶ。大型化によりコストは数百億 円となり、開発期間も5~10年と長い。ま た、高額なので大きな国の政府や大企業だ けが「顧客」であり、宇宙利用は広がり切ら ず、技術革新も進みにくい状況であった。

そこで作られるようになったのが、 100kg以下の人工衛星だ。大学やベンチャ 一企業がプレーヤーとなって、教育目的や、 リモートセンシング、宇宙の観測、様々な 実験のため、開発が進められている。「アメ リカなどは国も大型投資したことで一斉 に技術開発が進み、中・大型衛星の代替に なっていっている」と中須賀氏は話す。

人工衛星が超小型になると、どんな変化 が起こるのだろうか。

人材育成 6

新入社員セミナー

- ・コミュニケーションの重要性
- ・より多くのことを達成するために

イベントガイド 8

- 人事・総務情報交換会
- · 新規会員歓迎懇親会
- ・米国エグゼクティブ研修ツアー

パナソニック見学会

仕事の質を高める「働き方改革」 ~働きやすい、やりがいのある会社を目指して~

新会員のご紹介 11 JCSSAよりお知らせ 16

まず、200億円以上だったコストが数 千万~5億円以下となり、企業や県など新 規宇宙プレーヤーが参入でき、挑戦的ミッ ションにも取り組みやすくなる。また、5 年の開発期間が1~2年以下に短縮される ことで、繰り返しの挑戦が可能となり、人 材育成にもつながる。衛星システムがシン プルになり故障の原因追及も楽になるメ リットもある。

なにより、「超小型になることで宇宙へ の『しきい』が下がる」と中須賀氏は話し、 超小型化で可能となる例をあげる。例えば、 人工衛星を分散配置させ、頻繁に観測を行 うコンステレーション。複数機による共同 ミッション (フォーメーションフライト)。 パーソナル衛星の保有。海外新興国への開 発支援などだ。今後の超小型衛星の打ち上 げは、少なく見積もっても年間400~500 機といわれ、「明らかに超小型衛星時代に 向かっている」と中須賀氏は強く語る。

1kgの人工衛星の運用に成功

超小型衛星の例としてCubeSatがある。 これは立方体型の小型衛星で、東京大学と 東京工業大学はわずか1kgのものを2003年 に打ち上げている。これは世界最小であっ たが、同時に打ち上げられた衛星の中で日 本製のものだけが運用に成功。小さくても 高性能を保てる日本の技術力が証明された。

またCubeSatは小さいだけでなく、開発 期間が2年、部品費を300万円に抑えられ たのも特徴だ。コストを抑えられた理由は 「秋葉原部品を使ったから」だと中須賀氏 は話す。通常、宇宙の厳しい環境に耐えう る特別な部品が用いられる。そのため、宇 宙ステーションの蛍光灯は1本1,000万円 もするといわれるほど、部品は高価になっ てしまう。真空や熱環境、放射線、加速度 荷重などの打ち上げ環境、長距離通信の可 否、加えて機器の調子が悪くなっても修理 できない非修理系という悪条件が連なる中 でも、稼働する民生品を探し出したことが 費用の大幅な削減につながった。

東京大学はそれ以降も、JAXAの部品を

宇宙環境で試験するCubeSatの打ち上げな どにも成功。国立天文台と共同して「3次 元の星の地図」を作るための「Nano-JASMINE」も完成させ、打ち上げを待っ

中須賀氏が携わった取り組みの中に、 「ほどよしプロジェクト」(2010-2014 年)がある。より本格的なミッションに 取り組み、ビジネス利用できる衛星作り が目指されたプロジェクトだ。内閣府の 最先端研究開発支援プログラムで得られ た基金が用いられ、12大学、177企業と の連携が図られた。

プロジェクト名である「ほどよし」は 英語でいうと「Just Good」。長高信頼度 を狙うのではなく、使う人とコストなど を相談しながら、できうる範囲で開発を 進める方法論だ。このプロジェクトでは、 先進的要素技術の研究開発、衛星・機器・ インフラの機能向上と競争力強化が促さ れた。また、試験設備が作られデータ収 集が進んだので、超小型衛星の試験の国 際標準を日本が持てるようになった。 2014年に打ち上げられた「ほどよし3,4 号」では、送られた地球の画像から、山 間で煙が生じているのを学生が発見、「災 害感知に超小型衛星が有効だとわかった 機会となった」と中須賀氏は言う。

2018年に打ち上げ成功した「たすき」 についても話された。これは地上のセン サーから発される微弱な電波を受信する 「Store&Forward」を行う衛星で、災害 監視などに応用される。地上のあらゆる 場所にセンサーを置けるよう、いかに小 さい電力で稼働するかが課題であった。 研究の末、300bpsという速度であれば8 ~20mWにまで電力を抑えることに成功。 現在は海外新興国への教育支援衛星とし て売り出せるよう、簡単な構造の人工衛 星に改良している。

人工衛星の超小型化で 宇宙ビジネスが拡大

人工衛星の超小型化により、宇宙産業全

体が拡大している。世界の宇宙産業の市場は 右肩上がりであり、2014年時点で市場規模 は22兆円※、現在では約41兆円ともいわれる。

日本の宇宙産業は、国の資金で民間がロ ケットや人工衛星を開発・運用している。 アメリカの場合、民間の投資により開発・ 運用、政府はサービスを買うという、一段 上の段階に上りつつあると中須賀氏は話 す。民間が多く参入して活性化したアメリ カの市場では、衛星全般や打ち上げのほか、 惑星・小惑星探査、宇宙旅行・移住のビジネ スなども拡大している。

中須賀氏は、日本でも興っている宇宙べ ンチャー企業についても紹介。宇宙ゴミ除 去を行うアストロスケール社、人工流れ星 の放出サービスのALE社、月面での水資源 探査を行うiSpaces社などがあるという。

講演では、中須賀氏が行ったさらなる取 り組みについても話された。人工衛星内の 空間の利用権を売り、ビジネス利用を呼び かけているほか、キャラクターを乗せてア ニバーサリーメッセージを発信するなど、 親しみやすいミッションも行われている 例が紹介された。

また、中須賀氏が関わる国際連携につい て、CubeSatの開発連携協定がアフリカ・ ルワンダと結ばれ、2019年9月以降に衛 星放出が予定されている。UNISEC-Global という世界の様々な国が参加するネット ワークも構築され、技術・経験の交換と、大 きなビジネスの広がりが期待される。

今後の展望として、農作物の観察や収穫 予測、他国の経済状況や自国の渋滞などの 観測、災害時の情報収集など、多くのミッ ションが創出されていくだろうと中須賀 氏は話し、「人が見つけられなかった金の 鉱脈も、衛星のデータを使って見つけられ るかもしれない」と語る。小さな人工衛星 の中にも夢が凝縮されている。

超小型衛星の重要な役割は、宇宙へのチ ャレンジを増やし、人材を育てるとともに 新技術の萌芽を促すこと。宇宙の産業化が 進む中で、超小型衛星は日本がリーダーシ ップを発揮できるチャンスだと中須賀氏 は強調し、講演は終了した。

※「宇宙産業の現状と動向について」(2016年6月内閣府発表)

新役員のご紹介

2019年6月14日に就任した、一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会の新役員をご紹介します。 ※ 敬称略·順不同



会 長 林 宗治 株式会社ソフトクリエイト ホールディングス 代表取締役社長



SB C&S 株式会社 取締役 ICT 事業 法人サービス事業 先端技術担当



専務理事 窪田 大介 一般社団法人 日本コンピュータシステム販売店協会 専務理事



名誉会長理事 大塚 裕司 株式会社大塚商会 代表取締役社長



理事 水野 英樹 横河レンタ・リース株式会社 常務執行役員



理事牧田幸弘 日本ビジネスシステムズ株式会社 代表取締役社長



理 事 後藤 行正 ソフトバンク・テクノロジー株式会社 取締役 常務執行役員 営業統括



理事 大中 裕士 シスコシステムズ合同会社 専務執行役員 公共・法人事業統括



理事安田稔 レノボジャパン株式会社 執行役員副社長



那須 一則 株式会社日本 HP 執行役員

セミナー終了後の懇親会

サマーセミナーに続いて行われた懇親会は、JCSSA 名誉会長理事と なった大塚裕司氏、前副会長の金成葉子氏への花束贈呈から始まり、 新会長の林宗治氏の挨拶が行われた。

来賓祝辞では、経済産業省 商務情報政策局 情報産業課長の菊川人吾 氏、Dynabook 株式会社 代表取締役社長 兼 CEO の覚道清文氏より挨 拶をいただき、乾杯のご発声は一般社団法人コンピュータソフトウェ ア協会 会長の荻原紀男氏にお願いした。

新会長・新理事紹介がなされ、歓談の時間となった。中締めとして、 一般社団法人日本コンピュータシステム販売店協会 理事の木村和広 氏が挨拶を行った。





般社団法人日本コンピュータ システム販売店協会 会長 (株式会社ソフトクリエイトホー ルディングス 代表取締役社長) 林宗治氏



経済産業省 商務情報政策局 情報産業課長 菊川 人吾 氏



Dynabook 株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 覚道 清文 氏



-般社団法人コンピュータソフ トウェア協会 会長 (株式会社豆蔵ホールディング ス 代表取締役社長) 荻原 紀男 氏



一般社団法人日本コンピュータシ ステム販売店協会 理事 (リコージャパン株式会社 常務執 行役員取締役 ICT 事業本部長) 木村 和広 氏

EDUCATION

新入社員セミナー

コミュニケーションの重要性 より多くのことを達成するために

2019年4月17日、春からIT業界の一員と なった新入社員を対象に、社会人としての アドバイスや業界の展望をお伝えする「新 入社員セミナー」が文京シビック大ホール で行われた。会員企業34社から参加があり、 今回も大規模な開催となった。



日本コンピュータシステム販売店協会 大塚 裕司 会長

「最新のことを勉強しながら、自分自身が成長でき、 さらにお客様に喜んでもらえるのが IT 業界の仕事。 この業界に誇りを持てるように頑張ってください」 と JCSSA 会長の大塚裕司氏が開会の挨拶を行った。

コミュニケーションの 重要性

株式会社パンネーションズ・コンサルティング・

代表取締役 安田 正氏

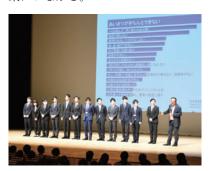


強みを見出し、 仕事の楽しさにつなげる

仕事を通じて成長できる人がいれ ば、できない人もいると安田氏は話す。 成長できる人は仕事を楽しめ、好循環 が生まれる。どうしたらそうなれるの だろうか。

まずは、自分の強みを発見して生か すことと、他人から評価されることが 大切だという。自分の強みを言える新 入社員はすでに多いかもしれないが、 強みを言えるだけでは十分ではない。 自分の強みは職場でどう生かせるの か考えるとともに、自分では意識して いない強みに気づく必要性があると 安田氏は話す。

また、他人からの評価も重要だ。ビ ジネスの場面ではコミュニケーショ ン能力が重要視されるが、初対面の 相手に好印象を抱いてもらうのには コツがいるという。安田氏は「メラビ アンの法則」を紹介した。これは話し 手が聞き手に与える影響を研究・実 験し数値化したもので、法則によれ ば人の印象には、視覚情報55%、聴覚 情報38%、言語情報7%の割合で影響 がある。つまり同じ内容を話すので も、表情やしぐさ、声によって印象が 左右される。セミナー会場では、実際 に新入社員が壇上で自己紹介し、安 田氏がアドバイスした。結果、会場か ら拍手となって反応が返ってくる、 好印象の自己紹介となった。コツを 掴んで少し意識を変えるだけで、成 果につながる。



①表情は口角を上げ、少し歯を見せるくら いに笑い、目つきをにこやかな三日月にす ること、②声はいつもより高めを意識し、 「ファ」「ソ」の高さにすること、の2点を 意識してもらった。

28歳までの頑張りが その後の可能性を拓いていく

社会人スタートの時期は基礎作り の期間でもあるが、仕事に対する意識 が変わる28歳までが重要な時間で、こ の期間の頑張りが後の成長に大きく 関わると安田氏は言う。28歳は一生 懸命に打ち込むことで、仕事への興味 が高まり、お金のための仕事から、仕 事そのものの面白みが感じられるよ うになる年齢で、それまで培ってきた 基礎力が、強みとして芽吹くタイミン グだという。

安田氏は、人の成長をグラフ化した とき、成長し続け上昇曲線を描ける人 と、残念ながら停滞したまま平行線を たどる人がいると言い、新入社員の時 点での実力は同じだとしても、努力の 積み重ねで差が生まれ、後から振り返 ると見える景色がまるで違ってくると 語った。成長を止めないために、今日で きなかったことを次には少しでもでき るようにする心掛けが重要だ。

これから発揮される才能・強みのた めにも、めげないでほしいと安田氏。 「可能性を信じてぜひ頑張ってくださ い」と鼓舞して講演を終了した。





より多くのことを 達成するために

日本マイクロソフト株式会社 **代表取締役社長 平野 拓也 氏**



探求をやめない姿勢 「グロース・マインドセット」 が重要

成功を収めたいと日々思っている人は多いだろう。新入社員となれば気合いもひとしおだ。目標を達成するために、大切なのはどんなことなのか。

平野氏は、重要な考え方として、まず「グロース・マインドセット」をあげる。これは、それまでの実績にとどまることなく、過去を超える考え方を見つけ、どこまでも探求していく向上心のことだ。学校では、正しい答えを出すことにエネルギーが費やされてきたが、それでは定められた以上の成果は望めない。新入社員は、先輩から仕事のやり方や作法を学ぶ際、前例のままで終えてしまうのではなく、「あれもできるんじゃないか」

と、拡張していく姿勢が大切だと平野 氏は述べる。

並んで重要なのが「コンフォート・ ゾーンからの脱却」だという。これは、 居心地の悪いところへ自ら進んでい く意識を持つことだ。入社当初は緊張 やいら立ちを感じるだろうが、慣れる と居心地が良くなっていく。慣れた状態で挑戦をやめるのではなく、自分から殻を破って居心地の悪いところへ 進んでいく生き方をしてほしいと平 野氏。居心地の悪さを求めることは、 グロース・マインドセットにつながる と話した。

講演では、グロース・マインドセットによって達成された、マイクロソフト社の実例も紹介された。新開発された機器は、文字情報も人の表情も読み取り、認識できる。これを使って、目が見えないがコーディングをして働く男性の話など、過去の実績にとどまらず、新たな結果を追い求めて成し遂げられた好例が話された。

「何をもって達成とするか」 を考え、テクノロジーで 可能性を切り拓く

意識を変えることだけではなく、テクノロジーによって達成できることも増える。平野氏は、一例としてマイクロソフト社の「インテリジェントクラウド」と「インテリジェントエッジ」を組み合わせる考え方を紹介した。高い情

報処理能力を持ったクラウドとデバイスを連携させることで、いつでもどこでも仕事ができるコネクテッドワークが可能となり、街や家のセキュリティは向上する。他にも、医療、移動手段、建築・工業デザインなど産業から暮らし方まで、様々な分野で可能性の幅が広がるという。

技術革新が進む一方で、日々進化するAI分野には新たな課題も生まれているという。平野氏は、アメリカで行われた教育プログラムの例をあげ、「人間の思考のバイアスでAIの動作が偏り、悪影響を与えた」と述べる。AIは、画像・音声の認識、文章読解、翻訳において人間と同等もしくはそれ以上の能力を持つという。高い能力を備えるようになった以上、AIに「どこまで・何をさせるか」を考える必要があると警告する。IT業界でビジネスをする上では、テクノロジーで「何を達成するか?」「社会をどう変えるか?」を考えてほしいと平野氏。

「今後みなさんが社会においてより 大きく成長され、多くのことを達成し、 パーソナルライフにおいても大きな成 功を収めることを心からお祈りいたし ます」と語り、講演を終えた。



▲ 講演をする平野氏

EVENT GUIDE

■人事・総務情報交換会のご案内

人材育成委員会では、恒例の人事・総務などのご関係者にご 参加いただく、人事問題に関する情報交換会を開催いたしま す。本年は、会員各社の関心が高い課題である「世界の常識か ら30年遅れ!情報のユニバーサルデザイン」と「健康経営に 関して(仮題) |をテーマとして予定しています。

テーマグループごとに基調報告をいただき、質疑応答、意見 交換を行いますので、各社の取り組みを相互に知ることがで きます。また、終了後には懇親会を行います。人事関係者同士 が交流できる機会となりますので、ぜひご参加いただきます よう、よろしくお願い申し上げます。

開催日時: 2019年8月23日(金) 15:00~18:30

開催場所: 関東ITソフトウェア健康保険組合

市ヶ谷健保会館

東京都新宿区市谷仲之町4-39

対 象 者: 会員企業の人事・総務関係者

参加費用: 4,000円(税込、懇親会費含む)





▲ 過去の講義の様子





▶ 昨年の交流会の様子

■新規会員歓迎懇親会のご案内

この1年間にご入会いただいた新規会員と、会長、副会長、理事 の方々と懇親会を予定し、相互交流を深めたいと考えています。

開催日時: 2019年8月28日(水) 18:10~20:30

開催場所: 関東ITソフトウェア健康保険組合

山王健保会館「木都里亭」 東京都港区赤坂2-5-6

対象者: この1年間に新規入会された会員

次第予定: 1. 開会挨拶 会長 林宗治

2. 乾 杯 総務委員長 谷正行 3. 新規会員自己紹介(各社1分程度)

4. 懇 談

5. 中締めコミュニティ委員長 大三川 彰彦

■米国エグゼクティブ研修ツアー

JCSSA主催による米国エグゼクティブ研修ツアーは、本年 で14年目を迎えます。米国シリコンバレーを定点観測し続け ることで、新しいトレンドをトップや幹部が自ら感じていた だけます。また訪問先の幹部や会員同士の交流も図れるため、 ご参加者に大変好評です。毎年8社前後の米国有力企業を訪 問し、最新情報を収集しています。

過去13回のツアーレポートは以下よりご参照ください。 http://www.jcssa.or.jp/tour/index.html#usa



▲ 過去の研修ツアーの様子

程: 2019年10月13日(日)~19日(土)(5泊7日) Н

訪 問 先: シスコシステムズ社

レノボ社 インテル社

Convergent Computing社

アドビ社

HPエンタープライズ社

HPインク社

セールスフォースドットコム社

※訪問先は都合により変更になる場合もございます。

参加費用: 基本ご旅行代金 489,000円

(ビジネスクラス追加代金 714,000円)

※ご旅行代金に含まれるもの: 航空運賃 (エコノミーク ラス)・空港税(4月現在の燃油サーチャージ含む)・ご宿泊

代(1名1室利用)・専用車、ガイド代

※本年の受付は5月31日で定員に達したため終了させていただきました。



パナソニック見学会

5月20~21日にかけて、ITビジネスモデル委員会主催のパ ナソニック神戸工場、パナソニックミュージアム見学会を開 催した。大塚裕司会長、林副会長、金成副会長、玉田副会長ら 18人が参加した。

工場では、コネクティッドソリューション社、樋口社長、坂 元副社長、関係者の皆さまにパナソニックの旗を持って出迎 えていただいた。来年で30周年を迎える神戸工場では、レッ ツノート全機種が自社一貫生産。1台からカスタマイズに対 応しており、多くの要望に応えた実績からデータを抽出、製造 過程等の改革につなげていた。特にタフブックは世界に誇れ る超頑強ノートパソコンであることを理解した。

パナソニックミュージアムでは創業者・松下幸之助氏の94

年間の生涯で、幾多の苦難の中で見出した、「生き方・考え方」 という"道"をたどりながら、経営観や人生観を学ぶことがで きた。



▲ 見学会の様子

仕事の質を高める「働き方改革」 ~働きやすい、やりがいのある会社を目指して~

SCSK株式会社 人事グループ 人事企画部長 酒井 大介 氏



4月19日に開催された4月度定例セミナーでは、SCSK株式会社の酒井大介氏をお招きし、働き方改革の推進方法や留意点についてお話しいただいた。

3つの柱で多面的に 働き方を改革

4月の働き方改革関連法の施行に伴い、働き方の多様性を認め、社員の力が生かせる職場作りが求められている。生産性向上や労働力の確保のために、多くの企業が課題としているだけでなく、生産人口の減少する現代では日本全体の課題ともいえる。

SCSK株式会社はいち早く働き方改革に着手したが、以前はIT業界が抱えがちな問題を同様に抱えていたと酒井氏は言い、当時の様子について話した。従業員の長時間労働は当たり前で、仕事が一部の人に集中し、休暇が取れず、社員の勤労意欲が削がれてしまう状況だったという。そこで経営理念の一つに、社員を財産とすることを掲げ、社員の心身の健康保持を目指した取り組みを、2011年10月より始めたと話す。結果、同

社は、改革前の2008年度に比べると、2017年度現在、残業時間は月平均35.3時間から16.4時間まで短縮、有給休暇取得数も13日から18.8日(94%)にまで上昇。労働時間が減少したにもかかわらず、現在も業績は右肩上がりを記録しているという。

成功を導いた取り組みとはどのようなものか。SCSK社の働き方改革は3つの柱からなる。

一つ目は「スマートワーク・チャ レンジ」、人事制度による労働環境の 整備だ。例えば、固定残業代を支給 して浮いた分を全額還元する制度、 有給休暇の消化後に使えるバックア ップ休暇を設け、また、残業時間が 長くなるごとに上位上司へ報告、承 認を得る制度も導入した。これにより、 上司上位が現場の状況を把握しやす くなり、適切な人員配置が可能とな ったという。取り組みの成功ポイン トとして、まず経営トップが働き方 改革の推進をいろんな形で社員に伝 え、促したこと、次に組織長から課 員に至るまで組織全体で取り組んだ こと、そして残業削減と有給休暇制 度をセットにしたことの3点を酒井氏

二つ目が「どこでもWORK」、就業 形態の多様化を認める取り組みであ る。在宅勤務を推し進め、育児・介 護にも対応した働き方を実現。同時 にペーパーレス化や、フレックスア ドレス制も導入した。オフィスのレ イアウトが変わり、打ち合わせなど 多様な使い方ができるようになった。

三つ目が「健康わくわくマイレージ」、健康保持増進を図る取り組みだ。ウォーキングや休肝日などの良い行動を習慣にしたり、健康診断結果が標準値であったりするとポイントが加算され、インセンティブが支給される。

3つの柱により、仕事・会社への社 員満足度は上昇し、誇りを持って長 く働き続ける意思のある社員が増え たと酒井氏は話した。

シニア正社員制度導入で、 より多くの人を働きやすく

3つの柱のほか、SCSK社は2018年7月から、シニアの技術力や専門性を生かし、会社の戦力とする制度「シニア正社員制度」を導入している。対象は満60歳で定年を迎える正社員で、定年は満65歳。職務ランクやグレードという評価に応じて給与が変わるシステムをとり、貢献度が給与に反映するため、実力の維持・向上が促され、対象社員のモチベーションにつながるという。

また、2019年1月からは副業・兼 業制度も設け、より多様な働き方に 応じた取り組みがなされている。

酒井氏は、「当社のこれまでの取り 組みが皆さんのお役に立てれば光栄 です」と話し、講演を終えた。

MEMBERS

2019年7月現在

①所在地 ②会員代表者 ③設立 ④資本金 ⑤従業員数 ⑥入会年月

株式会社エルプランニング

https://www.elplanning.co.jp

- ① **〒**141-0022 東京都品川区 東五反田1-2-33 白雉子ビル8F
- ②代表取締役社長 中村啓一
- ③2003年3月
- ④34.9百万円
- ⑤45名
- ⑥2019年1月18日

株式会社エルプランニングは、インターネットマーケティングの「守りと攻 め」をご提供する国内唯一の専門集団です。

設立より17年、ネットマーケティング一筋に、様々なサービスをご提供してま いりました。弊社のミッションは、お客様の企業ブランドをお守りし、新規顧客 創造のお手伝いをすることです。ネット風評監視、風評被害対策、SEO対策、リ スティング広告、インフルエンサーマーケティング、WEB制作等をご提供し、 お客様の広告費、採用費の効率向上に貢献いたします。JCSSAの会員様には、特 別サービスをご提供させていただきますので、お気軽にご連絡ください。



02

■ 正会員

株式会社エスペシャリィ

https://especially.co.jp

① 〒150-0012 東京都渋谷区 広尾1-11-5 朝日広尾マンション 410

- ②代表取締役 小鳥 彗来
- ③2008年10月 ④25百万円
- ⑤22名
- ⑥2019年2月22日

株式会社エスペシャリィは3つの「つくる」で全てのお客様にとって特別な集団を 目指しております!この意味は、『作る』常に作り続けお客様の満足度を高め、 『造る』技術の集合体として、より大きくお客様に利益をもたらすものを造り、『創 る』常に考え、行動し、新たな価値観を創るということです。「Especially」の意味で もある卓越した技術者集団を目指し、コンサル・開発・構築・運用事業に携わって おります。年齢層や得意分野も幅広い弊社の技術者たちの個性・技術的に強みを 活かした人材活用を得意としております。質の高い技術を追求し、皆様のお役に 立ちたいと思っております。また、「女性技術者が働きやすい」というのも、実は自 慢のひとつです。



03

■ 正会員

株式会社インターネットイニシアティブ

https://www.iij.ad.jp/

① $\pm 102-0071$ 東京都千代田区 富士見2-10-2 飯田橋グラン・ ブルーム

- ②常務執行役員 鯵坂 恒
- ③1992年12月
- ④22,979百万円
- ⑤1,960名 ⑥2019年3月28日

当社IIJは、1993年に国内初の商用インターネットサービスを開始して以来、 日本のインターネットを牽引してきました。現在ではITのトータルソリューシ ョンプロバイダとして、約11,000社のお客様にサービスをご利用いただいてお

マルチクラウドの広がりやワークスタイルの変革によって、企業ITのあり方が 急速に変化する昨今。IIJでは、ネットワーク、クラウド、セキュリティを1つの プラットフォームから提供する「One Cloud」をコンセプトに掲げ、お客様のビ ジネス環境の変化に俊敏に対応してまいります。ITに関する課題をお持ちのお 客様は、どうぞお気軽にご相談ください。



04

■ 正会員

OrangeOne株式会社

https://www.orangeone.jp

① $\mp 102-0071$ 東京都千代田区 富士見1-2-27 秀和九段富士見町ビル

- ②代表取締役 春日原 森
- ③2006年11月
- ④137百万円 ⑤40名
- ⑥2019年4月1日

2006年に設立されたオレンジワンは、「ITでビジネスを楽しく、新しく」をミッ ションに掲げ、各種事業を展開してきました。現在は、特定の技術を用いて企業 の戦略転換の軸をなす事業の企画・構築・運営の支援を行うChangeManagement 事業と、海外クラウド製品を日本文化に即した形で販売するCloud Distribution 事業の二つを事業の柱として、事業運営を行っています。

中小企業から大企業まで、国内のあらゆる企業で重要な課題となりつつある「カ スタマーエクスペリエンス」を向上させることで、日本企業で働く方々とそのお 客様、そして経営者の方々に、WOW体験(驚きと笑顔)をお届けするために精進 してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、何卒よろしくお願いいたします。



MEMBERS

2019年7月現在

①所在地 ②会員代表者 ③設立 ④資本金 ⑤従業員数 ⑥入会年月

05

キューアンドエーワークス株式会社

https://www.qaworks.co.jp

① 〒150-0002 東京都渋谷区 渋谷2-15-1 渋谷クロスタワー 23F

- ②代表取締役社長 池邉 竜一
- ③1999年7月
- ④97百万円
- ⑤420名 ⑥2019年4月9日

キューアンドエーワークスは、RPA導入支援サービスである「RoboRoid」を展 開し、RPA導入前の業務プロセス可視化サービス「RoboRoid-HIT.s」の提供から、 導入前後のつまずき点や有効活用法など豊富なノウハウをもとにしたコンサ ルティングの実施、保守・運用サポート、セキュリティ対策まで「ワンストップ・ サービス」を提供しています。

さらに、RPAと技術者派遣の合わせ技による顧客企業のデジタルトランスフォ ーメーション支援など、顧客のニーズに合わせた幅広いサービスを展開してお りますので、ぜひお声がけください。何卒、皆様のご指導を賜りたく、宜しくお 願い申し上げます。



06

■ 賛助会員

株式会社ナカヨ

https://www.nyc.co.jp

① 〒108-0075 東京都港区 港南1-7-18 A-PLACE品川東 7F

- ②代表取締役社長 谷本 佳己
- ③1944年5月
- ④4,909百万円
- ⑤752名
- ⑥2019年1月22日

ナカヨは今年で創業75周年を迎える中堅の通信機メーカです。音声通信(電話 機)やM2M無線の開発、機器製造で培ったものづくりの実績を踏襲し、新たに IoT分野への取り組みを推進しております。自社工場で自社開発の無線を利用 した製造設備への後付け外付けによる無線センシングによるデータの見える 化による現場改善を進めております。

これらの取り組みをもとに外部提供、提案を協業先やユーザー様と推進してお ります。今後も製造向けにとどまらず無線によるセンシングや遠隔通信、もの づくり等で会員の皆様やユーザー様のお役に立てればとの思いで入会させて いただきました。どうぞ宜しくお願い致します。



07

東京都千代田区

神田鍛冶町3-4

① $\mp 101-0045$

② 理事長 金修

③2018年2月 ④非公開 ⑤5名 ⑥2019年3月19日

■ 賛助会員

·般社団法人iCD協会

当協会は、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA) が公開する企業の人材育成に

活用することができる「i コンピテンシ ディクショナリ(iCD)」の認知度向上並 びに利用促進を目的に活動しております。 oak神田鍛冶町 7F

同時にiCDの企業への導入並びに活用企業の拡大等幅広い支援活動により、人 や企業、そして日本を元気にしていきたいと考えております。



https://www.icda.or.ip

08

■ 賛助会員

株式会社ブロードリーフ

https://www.broadleaf.co.ip

① $\mp 140-0002$ 東京都品川区 東品川4-13-14

グラスキューブ品川 8F ②会員代表者

- 大山 堅司 ③2009年9月
- ④7.148百万円
- ⑤921名 (2018年12月末現在)
- 62019年3月29日

株式会社ブロードリーフは創業以来、感謝と喜びの心とブロードリーフという 社名に込めた想いを大切に、様々な業種・業界の現場業務を支援するソフトウ エア・ITソリューション&各種サービスの提供を通じてお客様のビジネスをご 支援させていただいております。

今後もビッグデータ・AI・ブロックチェーンなどの先進テクノロジーによる社 会やビジネスの変化にいち早く対応し、時代のニーズに即した新しい価値を創 造・提供していきます。何卒、皆様のご指導・ご鞭撻を賜りたく、お願い申し上げ ます。







オフィスの新しい必需品です。 書きたい場所にスライドさせるだけで、宛名の横書き・縦書きはもちろん、 QRコードやバーコード、イラストの印刷までサッと手軽に行える「RICOH Handy Printer」。 多彩な機能を片手におさまるコンパクトなボディに搭載し、

オフィスワークの効率化を力強くサポートします。

一歩先ゆく新感覚のプリンター、これが印刷の新しいカタチ。

RICOH Handy Printer



※QR コードは、(株) デンソーウェーブの登録商標です。
※その他、記載の会社名および製品名・ロゴマークはそれぞれ各社の商号、商標または登録商標です。

http://www.ricoh.co.jp/printer



XGen[™]

工場のセキュリティは トレンドマイクロ

OT×IT環境の 融合における セキュリティの要。

製造業に押し寄せるデジタル変革の波。IoTは 工場現場に飛躍的な生産性の向上をもたらす でしょう。同時に工場の安定稼働には、環境に 最適化されたサイバーセキュリティが必要です。 OTとITの融合環境に、先進性と高い実績が 融合したセキュリティを。工場のセキュリティは トレンドマイクロにご相談ください。





Air Station"

Connect



つながりあって、広がる、新しいWi-Fiのカタチ。

親機と中継機同士が互いに通信しあうことで、網目(メッシュ)状にネットワークを構築する、新しいWi-Fiの仕組みを「メッシュネットワーク」と言います。 それぞれの機器がつながりあい、メッシュを広げていくことで、大きな家や複雑な家でも、





トライバンドシリーズ [スターターキット] WTR-M2133HP/E2S (銀機1台+専用中継機2台)



[親機] WTR-M2133HP パールホワイトグレージュ



WTR-M2133HP-PR パールローズグレージュ



デュアルバンドシリーズ [スターターキット] WRM-D2133HP/E1S (親楊1台+専用中継楊1台)



[親機] WRM-D2133HP



[専用中継機] WEM-1266



詳細はこちらから

JCSSA よりお知らせ

●トップエグゼクティブセミナー

開催日時:2019年7月24日(水)15:00~18:30

場 所:ホテルメトロポリタンエドモント (東京都千代田区飯田橋3-10-8)

●情報システム取引者育成プログラム「第1回基礎講座」 開催日時:2019年7月26日(金)15:00~17:00 場所:一般社団法人コンピュータソフトウェア協会 (東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル)

●人事・総務情報交換会

開催日時:2019年8月23日(金)15:00~18:30

場 所:関東ITソフトウェア健康保険組合

市ヶ谷健保会館

(東京都新宿区市谷仲之町4-39)

●米国エグゼクティブツアー

開催日時:2019年10月13日(日)~19日(土)

場 所:米国シリコンバレー有力企業各社

対 象:会員企業の経営トップならびに経営幹部

●管理職研修(後半)

開催日時: 2019年10月23日(水)9:30~17:30

場 所:式会社富士通パーソナルズ本社(予定)

(東京都港区港南2-15-2)

●JCSSAゴルフ交流会

開催日時:2019年11月3日(土)9:24 スタート

場 所:高坂カントリークラブ

(埼玉県東松山市高坂1916-1)

●営業提案力研修(前半)

開催日時:2019年11月8日(金)9:30~17:30

場 所:関東ITソフトウェア健康保険組合

市ヶ谷健保会館

(東京都新宿区市谷仲之町4-39)

●情報システム取引者育成プログラム「第2回基礎講座」

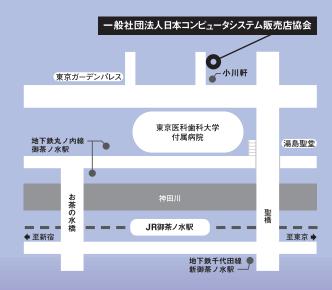
開催日時:2019年11月21日 (木) 15:00~17:00

場 所:一般社団法人コンピュータソフトウェア協会

(東京都港区赤坂1-3-6 赤坂グレースビル)



▲ 2018 年 7 月のトップエグゼクティブセミナーの様子



〒 113-0034 東京都文京区湯島 1-9-4 鴫原ビル 2 F

電話:03-5802-3198 FAX:03-5802-0743

URL: www.jcssa.or.jp E-mail: jimu5802@jcssa.or.jp